

日本トムソン株式会社に対する 「サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦）は、日本トムソン株式会社（代表取締役社長：細野 幹人、以下「日本トムソン」）に対し、サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク（以下「本SLLフレームワーク」）に基づくサステナビリティ・リンク・ローンを本日実行しました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のESG 戦略と連携したサステナビリティ目標（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット：以下「SPT」）を設定し、金利などの借入条件をSPT 達成状況に連動させることで、借り手に目標達成に向けたインセンティブを与え、環境・社会面において持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

日本トムソンは、経営理念である「社会に貢献する技術開発型企业」を基本とし、企業活動を通じた持続可能な成長と社会の持続可能性の両立の実現に向け、サステナブル経営を推進しています。様々な社会課題に対し日本トムソングループの事業に係る6つのマテリアリティを特定し、そのマテリアリティの達成に向け、資金調達面においてもサステナビリティ課題との関連性を高めることにも取り組んでいます。

日本トムソングループにおいては、Scope1およびScope2における温室効果ガス排出量削減目標とし、2030年度までに2022年度対比42%以上削減、2050年度までにカーボンニュートラルの実現を掲げ、SPTにはその過程の目標を設定しています。

なお、本SLLフレームワークは、株式会社日本格付研究所から、ローン・マーケット・アソシエーション等が定めた「サステナビリティ・リンク・ローン原則2023」、並びに環境省による「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2022年版」への準拠性と設定した目標の合理性について第三者意見書（※）を取得しています。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

（※）：株式会社日本格付研究所による第三者意見書をご参照下さい。（<https://www.jcr.co.jp/>）